11月 えんだより

- 発　行　元 ：ひいらぎこども園
- 発　行　日 ：令和5年11月1日
- 園　　長 ：中田　純子
- 連　絡　先 ：0774-44-0652
- 緊急連絡先 ：090-1159-0652

今月の予定

1	水	環境教育（年長）
2	木	親子ふれあい遊び（すみれ１）
3	金	文化の日
4	土	
5	日	
6	月	
7	火	親子ふれあい遊び（家庭的）尿検査
8	水	誕生会（年少・年中）尿検査
9	木	誕生会（年長）
10	金	誕生会（1歳児・2歳児）
11	土	
12	日	
13	月	親子ふれあい遊び（たんぽぽ２）
14	火	避難訓練
15	水	親子ふれあい遊び（たんぽぽ１）
16	木	親子ふれあい遊び（すみれ２）
17	金	
18	土	
19	日	
20	月	親子ふれあい遊び（すみれ３）
21	火	親子ふれあい遊び（れんげ２）
22	水	
23	木	勤労感謝の日
24	金	
25	土	
26	日	
27	月	
28	火	尿再検査
29	水	歯科検診
30	木	

12月16日（土）に幼児組の発表会を予定しています。今年は14日（木）に、祖父母を観覧対象としたプレ発表会を行います。両日とも、各家庭２名までご参加いただけます。時間等は後日お知らせいたします。ご予定をお願いします。

運動会には、お仕事の都合をつけてご参観いただき、ありがとうございました。皆様の応援で、最後にハグしてもらった時の子どもたちの笑顔が最高でした。やりきった！楽しかった！という成就感は次の活動の意欲につながります。さらなる成長が楽しみです。

アンケートのご協力もありがとうございました。頂戴しましたご意見は、今後の教育・保育の参考にさせていただきます。乳児組の「親子ふれあい遊び」もどうぞよろしくお願いします。

クラス		今月のめあて
0歳児	たんぽぽ	戸外遊びを楽しむ中で、秋の自然に触れる。
		保育者や友達に受け入れてもらえる喜びを感じる。
		好きな遊びを見つけ、集中して遊ぶ。
1歳児	れんげ	自分なりに考えて、身の回りのことをやろうとする。
		保育者や友達と一緒に、秋の自然に触れ、体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。
		好きな遊びを見つけ、自分なりに楽しむ。
2歳児	すみれ	絵本や紙芝居の内容を味わいつつ、自分達でイメージを広げ、友達とごっこ遊びを楽しむ。
		友達とイメージを共有し、遊ぶ楽しさを知る。
		秋の自然に触れ、葉が色づく様子や、実・落ち葉に興味を持つ。
3歳児	あか むらさき き	体験したことを、パスや絵の具等を使って表現することを楽しむ。
		友達と積極的に関わりながら、喜びや楽しさを感じる。
		友達と歌や楽器遊びをする中で、のびのびと表現し楽しむ。
4歳児	ピンク オレンジ	みんなで動きや言葉を考えて表現したり、演じて遊んだりすることを楽しむ。
		友達と協力しながら、共に遊びを進める楽しさを味わう。
		様々な遊びの中でルールがあることを知り、決まりの大切さに気付く。
5歳児	あお みどり	自ら健康に配慮し、園内外で互いに安全に気をつけながら過ごそうとする。
		友達と意見を出し合って相談しながら協同的に遊びを楽しむ。
		いろいろな材料を使い、試したり工夫したりしながらイメージをした物を作り上げていく楽しさや満足感を味わう。

やりたい時が　伸びる時

何をするにも全員で！運動したくても、クラスで制作をする時は制作をする。行事の練習は、気分が乗らない時でも、みんなで力を合わせるのが当たり前。当然生まれてくる待ち時間は、じっと座って待つ！乳児組でさえも、みんな一緒に食べて、一緒に寝る。これが、これまでの保育でした。

『興味の内容も、今やりたいことも、一人一人違って当たり前！お腹がすくタイミング、眠くなるタイミングも、生活リズムによってみんな違う。乳幼児期には、その時にしかできないことを、一人一人が納得のいくまで活動できる環境を保障することが大切。自分の思いを大切にしてもらった経験が、その後の人生の豊かさにつながる』ということに気付いたのは10年前の教育・保育要領の改定のための学習会が始まった時でした。以来、子どもたちがやりたいこと、見つけたこと、思いついたこと、その時の気持ちを大切にすることが、一人一人の子どもを大切にすることだと考えて、教育・保育を続けています。

８月に年中組で絵本の内容に興味をもった子どもたちが、絵本に出てきたジェラートをカップとフラワー紙を使って作りました。そのジェラートを使ってお店屋さんごっこを楽しみました。絵を描きたいお友達はお話の絵を描きました。すると、その遊びが隣のクラスや年長に広まって、「ジェラート作りたい！」「お友達と一緒に大きなジェラートを作りたい」「絵、描きたい！」「もう１枚描きたい！」と10月になっても活動が続きました。左側の絵は、年中さん。右側は年長さんの絵です。隣同士で描いていると、お姉ちゃんの絵を見て、同じものを全部描きたくなりました。箒にまたがった魔女も、空に浮かぶお城も、月も自分なりの表現で次々と描いていきました。

プレイルームでもホールでも園庭でも、年齢に関係なく、好きな遊びを一緒にする喜びが広がっています。指示された遊びではなく、自分で選んだ遊び。だからこそ、真似っこや教え合いが自然に生まれ、学びの広がりや深まりが見られます。

年中組 女児の作品

年長組 女児の作品